



熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム
平成 30 年度事業報告・決算報告・監査報告資料

日時：令和元年 10 月 3 日(木) 午後 2：00

会場：熊本県庁本館 8 階 801 会議室

目 次

I. 事業期間	-----	1
II. 事業概要	-----	1
III. 事業実施に関する事項	-----	1
1. 活動内容	-----	1
2. 情報共有と発信（広報活動）	-----	3
3. PT支援	-----	5
4. 会員増への取り組み	-----	5
5. 総会・企画運営委員会の実施	-----	6
6. 決算報告及び監査報告	-----	7
IV. 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり 及び再生策検討プロジェクトチーム報告について	-----	9
V. 活動PR戦略プロジェクトチーム（PRPT）活動報告について	-----	10

I. 事業期間

平成 30 年（2018）6 月 1 日～令和元年（2019）5 月 31 日

II. 事業概要

平成 30 年 9 月 20 日には九州・山口海岸工学会議に滝川企画運営委員長が出席し、熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム（以下「フォーラム」という。）の取り組みを紹介した。平成 30 年 11 月 16 日熊本県庁にて平成 30 年度通常総会を開催した。参加者は 50 名で、議題の採択及び、議事録署名人 2 名の選出が承認された。また、その他として NPO 法人みらい有明不知火滝川理事長・川岸理事が編集・執筆している「八代海再生へのシナリオ」の内容説明会が行われた。

大阪府阪南市で平成 30 年 11 月 2 日から開催された「全国アマモサミット 2018 in 阪南」において、パネルディスカッション“はんなんの森里川海”で滝川企画運営委員長がパネラーとして招待された。イベントに事務局も参加し、フォーラムの活動をアピールするためにポスターセッション展示とリーフレットの配布を行った。

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム会員数は、個人会員：42 名、団体会員：28 団体（令和元年 5 月 31 日現在）で官民の参加が得られている。

III. 事業実施に関する事項

1. 活動内容

プロジェクトチームの活動と併行して、総会に向けた 1 回の活動シナリオ作成 WG 会議が開催され、10 月 30 日に平成 30 年度第 1 回企画運営委員会が開催され、平成 30 年 11 月 16 日に通常総会が開催された。その後、3 回のシナリオ作成 WG 会議が開催され令和元年 7 月 2 日に平成 30 年度第 2 回企画運営委員会が開催された。

◆平成 30 年度第 1 回シナリオ作成 WG 会議開催

日時：平成 30 年 10 月 17 日(水)14:00~16:00

場所：NPO 法人みらい有明不知火事務所（熊本大学内）

参加人数：13 名

内容：①平成 30 年度事業計画・予算変更（案）について

②平成 30 年度第 1 回企画運営委員会次第（案）・平成 30 年度通常総会次第（案）

③その他

・「八代海再生へのシナリオ」出版物の概要について

◆平成 30 年度第 1 回企画運営委員会議

日時：平成 30 年 10 月 30 日(火)14:00~16:00

場所：熊本県庁本館 8 階 801 会議室

参加者：31 名

内容：＜審議事項＞

①平成 30 年度 事業計画・予算変更（案）について

②平成 30 年度 通常総会議題（案）

<報告事項>

①プロジェクトチーム活動状況について

- ・八代海湾奥環境改善・保全シナリオ作り及び再生策検討プロジェクトチーム
- ・活動 PR 戦略プロジェクトチーム

②ホームページの公開状況について

<その他>

①「八代海再生へのシナリオ」出版物の概要

②今後の活動について

◆平成 30 年度熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム通常総会

日時：平成 30 年 11 月 16 日(金)14：00~16：00

場所：熊本県庁本館 8 階 801 会議室

参加者：50 名

内容：<審議事項>

①議題の採択

②議事録署名人の選任

<報告事項>

①平成 29 年度活動及び決算並びに監査報告

②平成 30 年度事業計画（事業計画・予算）

③プロジェクトチーム（PT）活動状況について

④意見交換

<その他>

①「八代海再生へのシナリオ」出版物の概要について

②その他

◆平成 30 年度第 2 回活動シナリオ作成 WG 会議開催

日時：平成 31 年 3 月 29 日（金）14:00~15：30

場所：NPO 法人みらい有明不知火事務所（熊本大学内）

参加者：11 名

内容：

①活動の現状報告と今後の取り組み

②入会者賛助金納入について

③その他

◆平成 30 年度第 3 回活動シナリオ作成 WG 会議開催

日時：令和元年 5 月 15 日（水）14:00~

場所：NPO 法人みらい有明不知火事務所（熊本大学内）

参加者：12 名

内容：

- ①シンポジウム開催（案）について
- ②入会者及び賛助金納入について
- ③その他

◆平成 30 年度第 4 回活動シナリオ作成 WG 会議開催

日時：令和元年 6 月 20 日（木）14:00～

場所：NPO 法人みらい有明不知火事務所（熊本大学内）

参加者：11 名

内容：

- ①平成 30 年度事業・決算・監査報告について
- ②令和元年度事業計画予算
- ③役員改選
- ④シンポジウムについて
- ⑤その他

◆第 2 回企画運営委員会会議

日時：令和元年 7 月 2 日(火)14:00～16:00

場所：熊本県庁本館 8 階 801 会議室

内容：＜審議事項＞

- ①平成 30 年度 事業報告・決算報告・監査報告
- ②令和元年度 事業計画（案）・予算（案）
- ③令和元年度 通常総会議題（案）
- ④役員任期について

＜報告事項＞

- ①PT 活動状況報告
- ②ホームページの公開状況
- ＜その他＞

その他

2. 情報共有と発信（広報活動）

2.1 ホームページの運用

(1)ホームページの運用と更新

フォーラム活動経過を最新情報として順次掲載するとともに、企画運営委員会の議事概要、フォーラムの活動経過、PT 活動経過等の情報掲示

メインメニュー構成として次の内容を掲載している。新たに「八代海再生へのシナリオ【特設】」を準備中

[ニュース・活動内容・活動報告・入会案内・賛助金のお願い・お問い合わせ・活動紹介コーナー・八代海再生へのシナリオ【特設】]

(2) 他団体紹介 HP 状況

活動 PR 戦略プロジェクトチームと連携して昨年は 4 団体紹介していたが平成 30 年度は 1 団体追加して 5 団体を掲載中。

記掲載団体：NPO 法人みらい有明不知火・熊本大学市民講座・やつしろ里海ネット・天草海部

追加団体：熊本漁港建設協会

2.2 情報発信

(1) 平成 30 年度（第 28 回）九州・山口地区海岸工学者の集い

日時：平成 30 年 9 月 20 日（木）

場所：グリーンピア八女；福岡県八女市黒木町木屋 10905

参加者：滝川企画運営委員長

内容：九州・山口地区の大学・高専等を中心とした海岸工学の研究者の集いで、毎年開催される研究交流会において、滝川企画運営委員長が招待され特別講演を行った。「有明・八代海の今後の展開～環境省評価委員会および熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムをとおして～」の講演タイトルのもと、

①環境省：有明海・八代海等総合調査評価委員会での検討

②海域環境再生への視点～「八代海再生へのシナリオ」からの抜粋～

③熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム設置の経緯と展開

について講演し、若手研究者への情報提供と指導とともに「熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム」の取り組みの紹介を行った。

(2) アマモサミットへの参加

大阪府阪南市で平成 30 年 11 月 2 日（金）から開催された「全国アマモサミット 2018 in 阪南」において、パネルディスカッション“はんなんの森里川海”で滝川企画運営委員長がパネラーとして招待された。イベントに事務局も参加し、フォーラムの活動をアピールするためにポスターセッションとリーフレットの配布を行った。

（滝川企画運営委員長・上久保 PT 長・川岸 PT 長・中田事務局・西本事務局・岩井氏）

2.3 広報掲載実績

フォーラム設立に関する記事等が5件掲載された。

日 付	掲 載 媒 体	タ イ ト ル
平成 30 年 8 月	Ocean Newsletter, No. 433, pp. 4-5, 2018	熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムの設置と目指すところ
平成 30 年 9 月	平成 30 年度 九州・山口地区海岸工学者の集い , 特別講演, 62p, 2018. 9. 20	有明・八代海の今後の展開 ～環境省評価委員会および熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムをとおして～
平成 30 年 10 月	平成 30 年度 日本環境アセスメント協会 九州・沖縄支部 技術セミナー in 熊本, 62p, 2018. 10. 25	熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムの取り組み～海域環境再生とその評価～
平成 30 年 11 月	全国アマモサミット 2018in 阪南 “はんなんの森里川海” 【つなごら】 , 13p , 2018	～アマモサミット in くまもと・やつしろその後～熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムの設置と展開
平成 31 年 1 月	熊本県議会;有明海・八代海再生および地球温暖化対策特別委員会, 63p, 2019. 01. 16	有明海・八代海再生へのシナリオ～環境省:評価委員会および県沿岸域官民連携フォーラムを通して～

3. PT 支援

本年度は、以下の2つのPTの活動を支援した。

3.1 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム

川岸 寛 PT 長

シナリオ作成 WG 会議にて、本年度の計画として住民、関係者への周知及び共通認識の形成のための活動について協議を重ね、説明資料が必要との認識で一致し、NPO 法人みらい有明不知火で編集出版する予定の「八代海再生へのシナリオ」の作成に協力した。

3.2 活動 PR 戦略プロジェクトチーム

上久保 祐志 PT 長

①情報の発信

シナリオ作成 WG 会議及び事務局と連携した情報の発信を実施

②フォーラムリーフレット印刷

シナリオ作成 WG メンバーと連携してフォーラムのポスターを作成

また、リーフレット増刷

4. 会員増への取り組み

企画運営委員 22 委員 (6 個人,16 団体) および、企画運営委員会議オブザーバー3 団体、で企画運営委員会を開催している。これらの委員を含めて現時点では、個人会員：42 名、団体会員：28 団体 (大学(4)・国(3)・県(3)・市(4)・団体(4)・NPO(2)・民間企業(8)) 令和元年 5 月 31 日現在) となっている。

5. 総会・企画運営委員会の実施

企画運営委員会を前述のとおり10月、7月の2回開催した。また、通常総会を、11月16日に開催し、審議事項の承認を得るとともに、NPO法人みらい有明不知火滝川理事長・川岸理事が編集・執筆している「八代海再生へのシナリオ」の内容説明会が川岸理事によって行われた。

6. 決算報告及び監査報告

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム

平成30年度事業会計報告書

2019/6/20

【収入の部】

(単位:円)

科 目	H30年度予算	H30年度決算	備 考
(1) 寄付金	0	0	
(2) 助成金	0	0	
(3) 賛助金	550,000	46,000	個人:5名 団体1団体
(4) 雑収入	0	5	利息等
(5) その他	0	0	
(A) 単年度収入合計	550,000	46,005	
(B) 前年度繰越金	1,498,007	1,498,007	
(C) 収入合計=(A)+(B)	2,048,007	1,544,012	

【支出の部】

科 目	H30年度予算	H30年度決算	備 考
(1) フォーラム総会費用	50,000	3,432	会場費・印刷等
(2) PT活動費	300,000	19,494	PRPTのアマモ用リーフレットとポスター
(3) 事務局経費	200,000	90,432	
1) 事務局運営費	72,000	53,432	HP運営費・事務用品・消耗品代・振込手数料 他
2) 旅費交通費	50,000	37,000	九州山口海岸工学者の集い・アマモサミット参加宿泊費等
4) 通信費	20,000	0	事務連絡等
5) 印刷製本	50,000	0	会議資料等
6) 雑費	8,000	0	予備費等
(D) 単年度支出計	550,000	113,358	
(E) 単年度収支差額=(A)-(D)	0	-67,353	
(F) 次年度繰越額=(C)-(D)	1,498,007	1,430,654	

平成 30 年度熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム

監 査 報 告 書

平成 30 年 6 月 29 日から令和 1 年 5 月 31 日までの平成 30 年度熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムに係る事業報告及び会計報告について監査を行いました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役の監査の方法及びその内容

監査役は、事務局代表および筆頭会計から事業報告及び会計に関する管理の状況を聴取し、企画運営委員会及び事務局の業務執行状況と会計に関する重要な領収書等の収入を表す資料等を閲覧いたしました。また、会計報告書又はこれに関する資料を調査し、本会に係る書類（事業収支結果一覧表、領収書）等について検討いたしました。

2. 監査の結果

事業報告に関する書類を監査した結果、企画運営委員会及び事務局の業務は適正に執行されていることを確認いたしました。また、会計報告書に綴られた書類及び領収書は、本会の収支及び支出状況をすべて重要な点において適正に表示し管理されていることを認めます。

令和 1 年 6 月 20 日

監査役

城戸 誠司

印省略

監査役

田代 裕信

印省略

IV. 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり

及び再生策検討プロジェクトチーム報告について ----

川岸 PT 長

八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチームでは、平成 30 年度は住民、関係者への周知及び共通認識の形成を進め、後期から対策の方向性を検討していく予定としていた。

しかしながら、関係者への周知に際して説明資料として、従前から作成していた「八代海再生へのシナリオ」が不可欠との判断から、「八代海再生へのシナリオ」の発刊作業を優先させた。

「八代海再生へのシナリオ」の内容については、今年度、シンポジウムで紹介する予定であり、紹介の際に、現時点での八代海の環境上の問題点の整理の周知も諮る予定である。

V. 活動 PR 戦略プロジェクトチーム（PRPT）活動報告について

上久保 PT 長

1. PRPT の役割

PRPT は、フォーラムのテーマを踏まえて、次の 3 項目の役割をミッションとして平成 29 年度に設置した。これまでの活動は、シナリオ作成 WG 会議及び事務局と連携した活動を実施している。

- (1) 県民に有明海及び八代海の現状や課題の再認識を促し、フォーラムが目指す方向性や活動内容を広く周知するとともに、その理解並びに協力の推進を図る。
- (2) 上記活動テーマにかかる情報、地域の情報など、関連する情報を幅広く収集する。
- (3) 収集した情報は、各媒体による効果的手段によって、広く発信する。

2. 活動 PR 戦略プロジェクトチーム（PRPT）のメンバー

主に、シナリオ作成 WG 会議と同時に検討し、そのメンバーは、NPO 法人みらい有明・不知火、やつしろ里海ネットなどの民間組織及び関係公共機関で構成している。

3. 平成 30 年度の活動報告

(1) ウェブサイト

事務局と連携し、フォーラム関連情報のほか、行政機関、研究機関、地域情報、関係団体の活動内容などの情報をわかりやすく発信した。

<http://www.kumamoto-forum.com/>



(2) プロモーション活動

全国アマモサミット 2018 in 阪南(はんなんのうみ)の開催の中で、フォーラムに関するポスター展示を行い、多くの来場者に対してフォーラムでの取り組みを紹介した。



(3) イベント活動

『干潟フェスタ』（平成 28 年度から、熊本地震を機に休止中）復活を検討したが、本フォーラムの設置意義を再確認した結果、現段階では実施を延期とし、引き続き検討することとなった。